

シグマ研究委員会炉定数専門部会合会議事録

日時：昭和49年2月22日（金） 14:30~17:30

場所：原研本部第3会議室

出席者：飯島（NAIG），松延（住友），山崎（原電久冢代），関（MAPI），
桂木，新藤，菊池，西村，長谷川（原研）

議 事

1. 48年度経過報告

- a. Mechanical Evaluation に関し SCORE-3 の整備状況
- b. 炉定数改訂の現状
- c. 統計誤差評価
- d. ベンチマーク用システム開発
- e. FPの炉定数作成
- f. ベンチマークテスト結果

について報告がなされた。

関連事項として、核データ評価部会のFPWGの今後の計画が報告され、炉定数側専門委員を動員したいとの意向が表明された。これに対しては、個々の委員の判断にまかせることになった。

2. 49年度計画

炉定数作成が各組織間の共同作業ではなくなった。現状にもとづき、次のような案が出された。

- a) 解散する。
- b) 中性子透過問題や遮蔽定数，Decay heat 等を扱う部会に改組する。
- c) 情報交換または長期的視点にもとづく研究をする場として考えていく。

3. ENDF/B Format アンケート

調査結果のまとめとBNL NNCSCへの返答について報告され、了承さ

れた。